

2. 確率 ... あることがらの起こりやすさの程度を表す数 (割合)

(1) 確率の意味

(例) P173 学基 11

$$(1) \frac{810}{2000} = 0.405 \leftarrow \text{確率 (相対度数)} = \frac{\text{その階級の度数}}{\text{度数の合計}}$$

(2) $\uparrow$ 0.40 (どの結果も同じ程度に期待できるとき) 例. さいころを投げる
 ↑ (どの結果も) 同様に確からしい
 (この実験ではいえない) 場合ではどの目が出ることも
 同じ程度に期待できる

(2) 確率の基本

確率 (P) = $\frac{\text{あることがらの起こる場合の数 (a)}}{\text{起こり得るすべての場合の数 (n)}}$

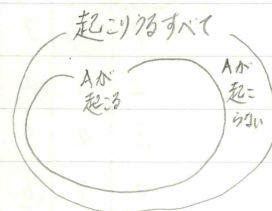
$$P = \frac{a}{n}$$

P の範囲 $0 \leq P \leq 1$

$P=0$... そのことがらは 決して起こらない

$P=1$... そのことがらは 必ず起こる

そのことの起こらない確率 $1-P$



(例) P174 学基 2

1 ~ 10 までのカード

(1) 起こり得るすべての場合の数 10通り

5の倍数 $\rightarrow$ 5, 10 の 2通り

$$P = \frac{2}{10} = \frac{1}{5}$$

$$A. \frac{1}{5}$$

(2) 5の倍数をひかえない確率

$$1 - \frac{1}{5} = \frac{4}{5}$$

$$A. \frac{4}{5}$$

(別) 5の倍数以外

$\rightarrow$ 1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 9

$$P = \frac{8}{10} = \frac{4}{5}$$

8通り